



はいった、はいった

保育園運動会より

無事、月潟祭終る
月潟祭三日間のうち「角兵衛獅子」上演の二十四日は午後から雨となり、傘を差し乍らの観覧となった。然し新しく養成された獅子児の熱演により随所に大喝采、拍手がとどろいた。(其の後の行事は総べて中止。)幸い二十三日、二十五日は晴天に恵まれ行事は滞りなく終り、殊に二十五日夜は翌日が日曜日の関係か九時以後人が繰り出し、露店市は十時過ぎ迄で賑っていました。

お母さん 早く、早く!

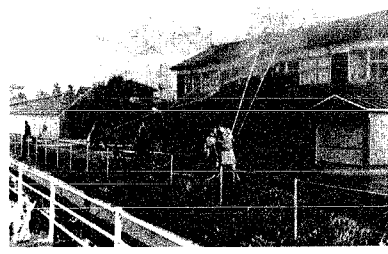


また来年にしましょ



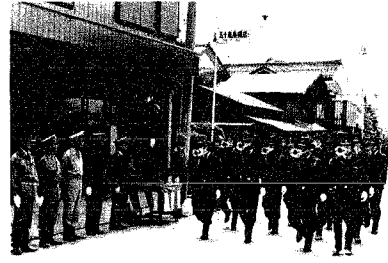
人で埋まった月潟まつりでした

万一に備えて 消防団連合演習



それ! 学校が火事だ。

月潟村消防団では、去る6月12日、昭和58年度連合演習を実施しました。演習は、早朝「学校給食共同調理場から出火」の想定で6時55分頃の一九番通報により開始されました。通報後、役場サイレンが鳴り響き、消防団が出動、続々と中学校周辺に集結、又、白根地区消防本部からも消防車、救急車が出動し、消火活動や人命救助など、本番さながらの訓練が行われました。演習は、このあと会場を中学校グラウンドに移し、永年勤続者の表彰やポンプ操法競



見事な分列行進

技などを実施し、最後にラッパ吹奏にあわせて月潟市街地で力強い分列行進を行い、閉会となりました。ポンプ操法競技では、各部門とも日頃の訓練の成果を存分に発揮し、キビキビとした動きを披露しました。競技の成績は次のとおりです。
第一位 第三分団第三部 (大字釣寄、釣寄新)
第二位 第三分団第一部 (大字東長島)
第三位 第三分団第二部 (大字木漕)
この結果、第三分団第三部が7月17日、黒崎町で開催さ

れる小型ポンプ操法競技西浦原地区大会に出場します。又、当日表彰を受けられた方は次のとおりでした。(敬称略)
◎月潟村消防表彰規則により表彰されたもの
◎10年以上永年勤続者
小林新、栗田猛、渡辺義一、阿部久雄、樋浦一義、村井健治、野沢正栄、阿部憲、木村久一、和平芳政
◎20年以上永年勤続者
白倉保、青柳己代司、村井猛、野内庄衛、池田栄一、曾山毅一郎
◎引き続き5年以上無火災を続けた分団として
第三分団

七月二十一日、八月二十日 夏の交通事故防止運動実施

七月二十一日から八月二十日まで一ヶ月間県下一斉に夏の交通事故防止運動が実施されます。今期間中の運動の重点は次の五つとなっております。
一、子供と老人の交通事故防止
二、二輪車の安全利用とヘルメット着用の推進
三、交通三悪など無謀運転の防止
四、暴走族の追放
五、シートベルト着用の推進
この時期は子供にとって夏休

みということと毎年いたましい事故が発生しています。家庭において子供達に正しい交通ルールを身につけさせるよう話し合う機会を持つようにして下さい。
又、安全運転していても相手からぶつけられないとも限りません。事故を軽減するためにも有効な手段はシートベルト、ヘルメットの着用以外にありません。
今回の五つの目標を心がけ、事故のない楽しい夏休みを送りましょう。

スリランカのシャンさん、農業調査で7/22、8/4まで滞在
昨年九月に訪問されたアジア経済研究所の海外研究員の中で、スリランカのシャンムガラサム(略称シャン)さんが東長島農業の変遷についてを研究課題として、研究調査のため七月二十二日、二週間西公民館に滞在することになりました。この間、東長島を初め、隣接集落や農業関係団体などを訪れ、聞き取り等により調査を行うものでご協力

をお願いいたします。
スリランカは米を主体に農業が営まれており、シャンさんも鹿児島大学を修了、自国では農学博士級の位をもち、日本人を妻に子供二人の四人家族で、今回、一緒に滞在することになっています。本人も日本語がとても上手な方です。お気軽に話しかけてください。



シンナー、覚せい剤から 暮らしを守ろう

薬物乱用対策指導員 青柳 昂子

連日、新聞、テレビ等マスコミで報じられているシンナー、覚せい剤犯罪は年々増加し、大きな社会問題となっております。
青少年はもとより、一般市民、家庭の主婦にまで広がりがつ、低年令化の傾向がみられ、本県では昭和56年中一五八人、57年中二〇九人が検挙されました。
人間の心と体を同時にむしばむ薬物とは、大別して、シンナー、覚せい剤、ヘロイン(大麻)となっております。

ナーを吸うと気分が大きくなり、力がわいてくる様な気分になるといわれています。又中枢神経をいため呼吸マヒをおこし死亡に至ることもあります。
又覚せい剤といわれる白い粉は水に溶かし静脈に注射することにより、眠気や疲労がとれると言われていますが、実際には薬の作用で、自覚症状が消えるだけのことで、前にも増して激しい疲労におそわれ、これから逃れるため

に、また覚せい剤を用いる、この繰り返しによって慢性中毒による精神障害を起こし、自分を殺そうと、だれかがねらっている、追いかけてらる、見張られている等の幻覚、被害妄想におそわれ、発作的に狂暴な行動を起こし犯罪につながるようになります。又覚せい剤は高価なもので、常用することにより家庭を破壊することになります。
薬物乱用におちいりやすい青少年を大別すれば①わがままタイプ、②依存型タイプ、③反抗的タイプ、④劣等感タイプ等があります。
金使いが荒くなったり、夜遊びが多くなったり、又突発的に乱暴したり、行動に一貫性が無い日常生活を送る等生活に変化が生じた時には充分注意を払って下さい。
不安定な時代の青少年を健全な社会人に育てる為、村民一人一人が周知徹底していただき、みんなの力でこれら薬物を社会から追放できる様努力しましょう。

